

ふっさ

◇ 昭和56年7月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ 電 0425-51-1511 (代)



七夕さまに お願いしました

てつや「鉄腕アトムになりたい」
きょうこ「お花やさんになりたい」

(つくし保育園にて)

非核三原則堅持の意見書を可決

＝ “核” 請願は不採択 ＝

五月十八日に報道されたライシャワー元駐日大使の日本への核持ち込み発言は、米軍基地を抱えるまことに大きな衝撃を与えました。

そのような状況の中、市議会では非核三原則の堅持を求める意見書を可決し、国へ提出しました。

ライシャワー元駐日大使の核持ち込み発言は、米空軍横田基地を抱える福生市にも大きなショックを与えました。

五月二十六日には市長が横田基地を訪問し、オーベルグ司令官に会い、核兵器の存在の有無について説明を求めました。

また議会でも六月四日に横田基地対策特別委員会を開き、基地を訪れ、同司令官に説明を求めましたが、いずれも軍事機密のため、核の存在については、あるとないとも言えないという回答しか得られませんでした。

六月十一日から始まった第二回定例会の一般質問でも核問題が取り上げられ、市長の考えを聞きました。市長は問題が米軍基地のことで、大きくみれば国家間の問題につながることもあり、米軍当局が核の存在については軍事機密であるので答えられないとしている以上、政府の非核三原則堅持の態度を信じるほかないとの考えを示しました。

事態を重くみた議会では、急ぎ、十一日に「非核三原則堅持

に関する意見書」を全員一致で可決し、総理大臣など関係大臣に提出し、「持たず、造らず、持ち込まず」という非核三原則堅持の態度を政府は今後も堅持し、市民の疑惑と不安を取り除くよう要望し、議会の核問題に対する態度を表明しました。

市民団体などからも「米軍横田基地の立入調査要求に関する請願書」、「核」の疑惑と不安に対して横田基地への市民による『立入調査』での真相究明に関する請願書」、「非核三原則を堅持し在日米軍横田基地に対する国と関係自治体による立入調査に関する請願書」の三つが出され、十五日に開かれた総務委員会で審査されました。

それぞれ請願の内容は、横田基地への立入調査が実施されるよう関係機関に意見書を出してほしいというものです。

同委員会では、市民の不安を無くすためにも調査は必要であるとの意見や実態調査は現実的に考えても非常に困難であるとの双方の意見が出されました。

そして議会ではすでに「非核

第二回定例会

審議日程

6月

- 11日 本会議
- 12日 本会議
- 15日 総務委員会
- 16日 厚生委員会
- 17日 建設委員会
- 19日 議会運営委員会
- 24日 本会議

暦と天気がぴったり合って、六月十一日に関東地方は梅雨に
入りました。またうとうとうらしい季節の始まりです。
市議会の第二回定例会は、十一日から二十四日まで会期十四
日間で行われました。

議会も冒頭から「核」に揺れ、十一日には「非核三原則堅持
に関する意見書」を可決し、国に提出しました。

第1日目

申し出のあった六人の議員が基地問題や財政問題に
ついて一般質問を行いました。途中、傍聴席からのヤ
ジにより、議場が騒然となる一幕もありました。

第2日目

前日に引き続き一般質問を行った後、市長提案の議
案審議を行い、特別職等の平均八・八割の報酬引き上
げ案は、総務委員会に付託し、慎重に審査することに
しました。また、核問題についての三つの請願も総務
委員会に付託しました。

第3日目

委員会審査報告が各委員長よりなされ、特別職等の
報酬の引き上げなどは、すべて原案どおり可決されま
した。また、この日あらたに四つの意見書が全員一致
で決まり、関係機関に提出されました。
なお、核問題についての三つの請願は、すでに「非
核三原則堅持に関する意見書」が可決されており、具
体的な行動等は国家間の問題であるとの理由により、
三つとも不採択となりました。

市民の疑惑と

不安の解消を

非核三原則堅持に関する意見書

ライシャワー元駐日大使等の発言をきっかけに、核問題は現在大きな論議となっております。とりわけ米空軍横田基地を抱える福生市民にとって、この問題は大きな衝撃を与えました。

政府におかれましては、繰り返し「非核三原則は堅持する」との態度を表明しておりますが、今後ともこの方針を堅持され、市民の疑惑と不安を除去されるよう、一層の御努力を要望いたします。

三原則堅持に関する意見書」を可決しており、政府が繰り返し国会で答弁している非核三原則堅持の姿勢を信じるほかにないのではないかと、意見が大勢を占め、請願三件は不採択となり、議長に報告されました。

六月二十四日の本会議最終日に、委員会での審査内容が報告され、討論が行われました。

ブローケン・アローと呼ばれる核事故を想定した訓練や核搭載可能なC5A等の多数の軍用機の離着陸、最も危険度の高い番号1の貯蔵庫の存在など横田基地に核が持ち込まれている可能性が非常に大きい。このような疑惑がある以上調査を行うべきであると賛成者は採択を主張しました。

一方、反対者は横田基地は日

米安全保障条約によって存在するもので、非核三原則を堅持して世界平和に尽くしている日本政府の立場をよく理解し、信頼して、基地の実態調査に関する意見書の提出は賛成しかねると主張しました。

討論の途中、傍聴席からヤジが飛び、議長が議事進行の妨げになると判断し、退場を命じたため議場が一時騒然となる一幕もありました。

討論後、起立による採決を行い、三つの請願は「すでに非核三原則堅持に関する意見書が可決されており、このための具体的な行動等は、国家間の問題であり願意には治いがたい」との理由を付して、賛成少数により、不採択と決まりました。

6月1日からの特別職報酬

7月1日調べ

	改正後の額 円	26市中 の順位 位	アップ金額 円	アップ率 %
市長	570,000	18	40,000	7.5
助役	495,000	18	35,000	7.6
収入役	480,000	14	35,000	7.9
教育長	480,000	13	35,000	7.9
議長	300,000	23	30,000	11.1
副議長	265,000	24	25,000	10.4
委員長	255,000	14 (16市中)	25,000	10.9
議員	250,000	24	25,000	11.1

特別職報酬

今年平均八・八%のアップ

市長の諮問機関である特別職報酬等審議会は、五月八日に特別職の報酬等の改定について、市長に引き上げを答申しました。この答申を受け、市長は六月の定例会に特別職の報酬等の引き上げ案を議会に提案しました。

同審議会は三月初めから五回にわたって、職務と責任の度合い、財政状況、社会経済情勢、他市町との均衡、一般職員給与の状況、春闘の動向等、いろいろな角度から審議を重ね、六月

一日から平均八・八%引き上げるとの結論を出しました。

職務と責任の度合いについて答申書は、市長等三役は特別職ではあるが、勤務の形態は一般職員と同様であり、増大する行政需要、複雑多岐にわたる内容と責任が要求され、その職責は重いと述べています。

また議員についても厳しい社会情勢、市行政の複雑化、住民要求の多様化等により、広い範囲において活動していると評価

を与え、報酬を約一〇%引き上げるように答申しています。

報酬の引き上げ案の審査を付託された総務委員会は、六月十五日に委員会を開き、審査しましたが、特別職の報酬の引き上げは、十年連続であり、質問もそこに集まりました。

特別職報酬等審議会は報酬を一挙に引き上げるよりも毎年少しずつ引き上げる方が望ましいという基本的考えをもっており、今年もそれに沿って引き上げの答申が出されたとの市長答弁もありました。

委員からは毎年引き上げを考えているのならば、そのための補正予算を組まずに、当初予算に引き上げを盛り込んだらどうかとの指摘があり、市長も賛成の意向を示しました。

また市の構成等からすれば、現行額が妥当であり、引き上げは、財政面において極力おさえるべきだとの意見も出されました。

二十四日の本会議最終日には委員長報告後、十年連続の引き上げには反対であるとの意見と引き上げは妥当であるとの賛成意見も出され、起立により採決した結果、賛成多数で可決されました。これにより、六月一日から特別職の報酬が引き上げられることになりました。



一般質問

第2回定例会では
6人の議員が一般
質問を行いました



横田基地の核問題

— 横田に核はあるのか —

質問 元アメリカ駐日大使や退役した米海軍の中將等が核の持ち込みについて発言を続けて

いる。横田に核があるらしいということは以前から聞いていたが、核の事故を想定した訓練も

連日の新聞報道

続いている横田に一体核があるのかどうか。また核事故による核漏れ等に対し市ではどのような見解をもっているのか。核問題が起きてから核搭載機といわれる飛行機の離着離が確実にふえている。回数及び機種についても聞きたい。また米兵による犯罪の実態についても聞きたい

市長 一番よいのは司令官に直接聞くことであると思ひ五月二十六日に面会し真相を追求したが、軍事的なことは手続きを經なければ話すことはできないとのことであつた。早速防衛庁、外務省の高官にも働きかけたが、国会等で答弁しているとおりの非核三原則を守つていくということではつきりした答が得られなかつた。

市民部長 離着陸飛行回数については再三答弁しているとおりの、リサイクルセンターで自動測定器により記録しているが機種等のチェックはしていない。三月の一月月間の飛行回数は一千六百八十三回、一日平均五十四回程度、四、五月はほぼ同数の一千三百二十回前後、一日平均四十四回の記録がされている。

なお米兵関係の犯罪は、十年程前の四十五年度中に起きた強盗傷害事件十三件、人員にして十六名のうち軍人軍属を含めた

者は十五名であつたが、五十五年途中の実態は凶悪的犯罪が減り、非侵入等十件十名、そのうち軍人軍属等は五名ということである。

非核三原則堅持を

政府に要望

質問 日本への核持ち込みについては、今回のライシャワー発言をはじめとした一連の証言で一層明確になつてきている。市長は核持ち込み、通過、寄港に対して反対の態度を表明するのか。また核搭載可能機の横田への飛来、市民に対する核問題のアピール、アメリカ及び日本政府に対する抗議要請をする考えはあるか。

さらに、あるともないとも言えないという基地司令官に対し、憤りを感じているか。

市長 五月二十六日に横田基地司令官に会い、核の存在と立入調査について尋ねたが、答え



第2回定例会を

傍聴された市民の方々

- 鈴木 和夫
- 原田 史弘
- 佐々木訓子
- 内田まゆみ
- 水野 敦子
- 国枝 夏夫
- 中居 竹夫
- 斉藤 一三
- 阪上 孝男
- 斉藤 竜彦
- 大森 進
- 池田満智子
- 小林 未吉
- 宮下 俊雄
- 清水 義之
- 山川美智子
- 北山 信之 (敬称略)

次の定例会は
9月に開かれます

は、「核はあるともないとも言えない。調査には手続が必要で対応の変化があれば、速やかに市長に連絡する」との返事だった。

また国際的な大きな問題でもあるので、全国市長会の役員、基地協議会の会長にもお願いし六月八日には防衛庁長官、外務省の参事官、政府の三役に要望

北方領土のたれ幕

内容検討のうえ揭示

質問 市民会館等に北方領土のたれ幕がかかっているが、公共施設を使っている点、またスローガンの内容、予算措置について聞きたい。

書を提出し、一日も早い市民の不安の解消を申し入れた。

なお政府では、核の持ち込みは事前協議の対象で、非核三原則は守っているの心配はないとのことであった。

明確な答弁ができず残念ではあるが、政府に要望し、その答えが出次第、はっきりした答弁をしたい。

総務部長 地方自治法上は問題はなく、市では市民に見ていただくという観点から市民会館等に揭示した。スローガンについては、十二月の全員協議会で基本的な事項を説明し、ご了承いただいたという判断の上で、その中から選んで作製した。

なお予算措置は、今年度の当初予算に計上し執行している。

乏しい自主財源

使用料等の改定を検討

質問 財政確立の方策として財政基盤の安定化を図るとい

具体的な構想は何か。使用料や手数料等の見直しを財政問題検討委員会で検討しているというがその結果はどうか。また西多摩勤労者福祉協議会の五十五年度補助金は、留保し検討することであったがその取り扱いはどうなのか。この協議会の事業内容、予算、特に歳入面における会費及び補助金の比率について聞きたい。

市長 当市は自主財源に乏しい

保育の充実のため

父母にも応分の負担を

質問 保育料は、保育サービスに要した費用の回収を目的とする必要はなく、むしろ保育サービスに要するコストを下回った額でなければ意味がない。

保育料改正専門委員会の委員を八名とした根拠と選出方法を聞きたい。また広く市民の声を聞き、市民が納得できる改正をするために公聴会を開く考えは

く依存財源に頼らざるを得ないが、国や都の財政状況から以前のような期待はもてない。諸施設の整備によりその維持管理費が増大していることから、施設の利用者にも応分の負担をしてもらいたいと思っている。

企画財政部長 財政問題検討委員会で、使用料、手数料の妥当性等を検討している。ただし、保育料については専門委員会の審議もあるので、六月二日に改定の必要があると市長に答申した。また道路占用料は五十七年度から徴収するという前提であり、その他の手数料等も順次検討していきたい。

総務部長 勤労者福祉協議会の補助金は従来二十万円を、

あるのか。

市長 保育行政は市でも重要な施策として、今後も一層の充実をめざし努力したいと思っ

ている。その具体的な実施を図るためには、保護者にも応分の負担をしていただく必要がある。現在、財政問題検討委員会を設置し、行政事務全般にわたり使用料、手数料の適正化の検討をしているが、保育料については、改正の方向との意見が出され、専門委員会に諮問し、調査していただきたいと思っ

ています。また委員数は市の規則で十

五十五年度から十五万円に減額した。今後は支出の根拠、事業成果等を評価し決定されるものと思われるので、協議会には当市の考え方を説明している。



名以内と定めてあるが、前回の五十一年度の時を参考とし、今回も八名にしたいと考えており、選任については検討中である。

なお、公聴会の開催は考えていないが、専門委員会の意見も聞き対応したい。

財政的に困難な

都立保育園市への移管

質問 都の第二次財政再建化への具体案として、保育所等地域的施設の市町への移管が示さ

れたが、いままでの経過について伺いたい。

市長 市長会では保育園の所在市町の行財政の現状を十分考慮し、早急に結論を出す性格のものではないと考えている。

・西口の再開発・

地元住民に高い関心

質問 福生駅西口再開発の後の進捗状況と地区説明会に出席できなかった方への戸別訪問、意識意向調査の結果、第三街区の発起人、準備組合設立へ

の働きかけ等の結果を聞きたい。また現在駅前通りで二軒の家が取り壊しをしているが、再開発を前提にし、了解の上でのものであるのか。



再開発がまたれる西口商店街

市長 このほど意識意向調査が、七二％の回収率でまとまった。非常に関心も高く、厳しい情勢把握をされているようである。今会期中の最終日の全協に報告し、地元関係者にも説明していく予定である。またご指摘の建物の建替工事については話し合いをもったが、先方の事情もあり法的規制

もできない状態である。しかしながら再開発事業の運びとなった段階で再度話し合う必要があると考えている。もう一方については当分の間駐車場との確認を地元でしている。今後このような障害もあるとは思いますが、情報が入り次第出向いて話し合いをするつもりである。

市民部長 出席できなかった方への戸別訪問については、いろいろな問題で誤解を招くのではないかとということで中止になった。なお準備組合の設立については、調査結果の説明会後ということで若干遅れている。

公社借入金金の金利

将来の市財政にかけ

質問 基金の活用も今後の事業運営に大切であると考え早い時期に議会にも相談するのとこのことであったが、内部検討もされたと思うので説明願いたい。また仮称第八小学校は学区内の児童数の増加が少なく当分建設する必要がないとされているが、すでに用地も買収され、用地費代として公社に支払う利子は膨大な額と思われる。土地の先行取得も結構だが、建設見込みのない土地であればいかにすべき

か考え方を聞きたい。

市長 基金及び市債にはきわめて重要な要素がある。公社の潜在的負債というべき借入金金をこのままにしておくこと将来の財政に重大な支障をもたらすと思う。アサノポール跡地については進展の兆しがみえてきており、八小についても法的な問題であるので関係官庁に相談し最善の方法をとりたい。なお基金の運用は法令や条例の許す範囲内で最も有利な運用を図るよう研究していきたい。

教育長 八小用地の借入金金利は年間約一億五千四百三十五万円となり、一日四十万円になる。教育委員会でも重要な問題であり、都の教育委員会や総務局統計部を訪れ、出産適令人口を年代別に調査し学区内の児童数の推計に取り組んでいる。早急に調査結果をまとめ市長に報告したいと考えている。

婦人生活会館

関係者と合意

質問 十万円未満の請負で処理できる契約について、一式という表現は適当でないか。また給食配膳員の雇用契約についてパート適用規定がない。

農業委員に二氏を推せん

第2回定例会最終日に農業委員会委員(任期3年)のうち、議会推せん委員として、次の二氏を推せんしました。

- 笹本 太郎 氏 福生281
- 高水 惣八 氏 熊川343

議 会 に つ いて

4月	9日	東京都市議会議長会
	20日	市議会だより編集会議
	21日	横田基地対策特別委員会
	23日	関東市議会議長会(24日まで)
5月	1日	全国市議会議長会基地協議会(2日まで)
	6日	議会運営委員会
	8日	三多摩上下水総会
	11日	第二回臨時会(第一日目)、全員協議会

長期にわたっての連続雇用となると法等により権利関係が生ずるおそれはないか。

なお当初予算に婦人生活館の地代が計上されていないが、その経過と取り壊す時期はいつ頃になるのか。

助役 婦人生活館は四月一日をもって、(イ)建物名義は取り壊しまで市の名義とする、(ロ)存続期間中の地代は無償とする、(ハ)今後は牛一町会の集金施設として維持管理に必要な経費は町会で負担する、等の方法で合意に達

コンピュータの導入

委託範囲内で効率的に

質問 税務の課税事務等にコンピュータを利用しているが、コンピュータの開発により効率的な利用は今後もふえると思われる。将来の方向として施策の企画立案等行政事務の省力化、効果の増大等どのように考えているか。また部制を廃足させてから四年目を迎えている。市民に対して最大の行政サービスをする上から検討する時期にきていると思うがどうか。

市長 ご指摘のようにほぼ広い分野で電算事務を委託している。この中には現在の方法でな

し解決した。なお会館の取り壊しは現段階でははっきりということとはできない。

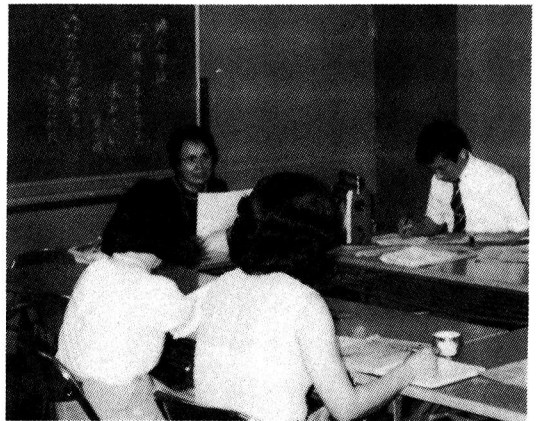
総務部長 十万円未満の契約については、各庶務担当係長に十二月十六日付をもって、今後業者から見積書等明細のわかるものを徴し発注するよう通知している。なお給食配膳員の雇用契約は、雇用期間等の記載された承諾書を市長あてに提出してもらっているが、今後は法律関係等とも照らし合わせ問題が生じないよう対応していきたい。

ければ職務上都合の悪いものもある。現在委託している範囲内でさらにその内容を検討し事務能力の向上に努めたい。

なお市の組織は地域の変遷と市民要望の変貌等により見直す時期にきており、四月に組織検討委員会を発足し検討を進めている。できるだけ早く検討結果をまとめ、その結果を待って組織替えを考えていく。

企画財政部長 行政事務の効率化を考えても、市独自でコンピュータを持つことも何市かでコンピュータセンターを作ってやることも難しいと思う。市では現状を維持し、利用度を高めながら、今後は行政資料を把握する必要もあると思われるので十分研究していきたい。

では五十年の国連総会では五十二年から六十年までの十年間を国際婦人年と宣言し、国際婦人年世界会議で採択された男女平等のための行動計画も承認した。政府では五十二年に、東京都でも五十三年にそれぞれ婦人に関する総合的な施策と推進を図る行動計画を発表している。市ではこの問題についてどのように認識しているか。問題の重要性から行動計画を策定し、市民及び職員に対し周知



婦人学級、講義にも真剣なまなざしが……

世の中男ばかりじゃないのに！

— 婦人の地位向上に努力 —

質問 昭和五十年の国連総会

では五十二年から六十年までの十年間を国際婦人年と宣言し、国際婦人年世界会議で採択された男女平等のための行動計画も承認した。政府では五十二年に、東京都でも五十三年にそれぞれ婦人に関する総合的な施策と推進を図る行動計画を発表している。市ではこの問題についてどのように認識しているか。

徹底すべきと思うがどうか。

市長 職場における賃金の問題から家庭生活の問題に至るまであらゆる面でまだ男女間に不平等があるのは事実である。婦人の行動計画については市でも各担当部で部分的な対応施策をすすめているが、統一的な施策の実現に至っていない。趣旨の重要性を充分認識し、行政の許す範囲において婦人の地位向上のため努力していきたい。

福生市にみる

男性		女性	
人口	24,374人	人口	24,514人
55年の出生	392人	出生	368人
7月5日の都	37.24%	7月5日の都	37.51%
議選の投票率		議選の投票率	

6月

- 12日 第二回臨時会(第二日目)、全員協議会、横田基地対策特別委員会
- 14日 東京都市議会議長会(15日まで)
- 25日 横田基地対策特別委員会及び防衛施設局へ陳情
- 27日 全国市議会議長会
- 4日 横田基地対策特別委員会、議会運営委員会
- 11日 第二回定例会(第一日目)、全員協議会
- 12日 第二回定例会(第二日目)、全員協議会
- 15日 総務委員会
- 16日 厚生委員会
- 17日 建設委員会
- 19日 議会運営委員会
- 24日 第二回定例会(第三日目)、全員協議会、東京都市収益事業組合協議会
- 25日 福生伝染病院組合協議会
- 27日 狭山火葬場組合協議会
- 30日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合協議会



たいせつにしたいな 笑顔からこぼれる白い歯

質問 虫歯予防対策について聞きたい。

①障害児や障害者は、歯の痛みや治療を求める能力さえない場合も多く、歯の病気がもとで全身に重大な影響を及ぼすことがある。国際障害者年である今年こそ、立ち遅れている障害者歯科医療を前進させるような行政での施策が必要ではないか。

また休日歯科診療を求める市民の声も多く、現在行われている休日診療の中で歯科診療もできないか。

②虫歯予防には、食後三分以



今日も歯みがき イッチ、ニイ、サン

内に歯を磨くことが効果的であると言われている。教育の一環として、学校でも給食が終わった後、先生が一声かけ、「食べたら磨く」という習慣づけをし

たらどうか。

またフツ素の塗布が虫歯予防となることは各方面でも立証されている。現在、都の施策として保健所で行われているが、市でも学校での健康診断等でフツ素の塗布ができないか。

市長 ①障害者の歯科医療処置、特に重度の精神障害者の処置が非常に難しく、医療施設、

技術の整った都立病院でなければ診療できない現状である。申し出があれば、都立病院への仲介等に努力していきたい。

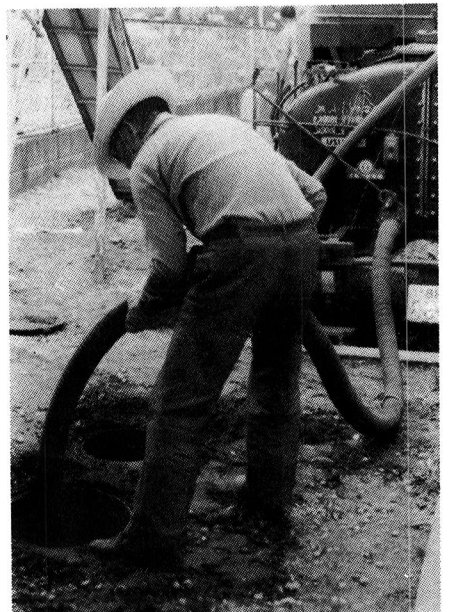
また休日歯科診療の必要性は充分認識しているが、内科と歯科を同一的に考えることはできない。現在、都が実施主体となり、西多摩地区に一箇所設置されているが、P・Rについては医師会の方に確認し、差しつかえなければ広報等でP・Rしたい。なお、健康センターでは当番歯科医の案内ができるようになっている。

②保健所では月に一度、虫歯予防教室を開催しているほか、フツ素の塗布についても予約制により実施している。

行政としても対策を講じなければならぬと思うが、家庭でのしつけや指導も大切ではないかと思う。

教育次長 ②学校での歯磨きの励行については時間的な問題もある。給食そのものに四十分が適当とされており、給食後、歯磨きをさせようとした場合には、狭い手洗場の混雑も予想され、相当の時間を要する。

昼休みは子どもたちの大切な時間でもあり、学校でも創意工夫し、指導しているので今後もそのようにやっていきたい。



有料化が検討されるし尿くみ取り

六千五百世帯が水洗化

供用開始地区 普及率は七三%

質問 下水道の供用開始後、

三年を経過した区域の普及率及びくみ取り料の有料化の考え方について聞きたい。また改造資金補助金の打切りに対する考え方、業者間の工事費差が大きいといわれる指定業者の選定基準、受益者負担金の徴収猶予の申請についても聞きたい。

市民部長 し尿の有料化は、他市でも普及率が八〇%を越えている地域を対象にしているのが現状である。市では全地域が供用開始される時点で検討したい。時期は下水道完了予定が六十年であるので、その三年後の

六十三年前後になると思う。

建設部長 下水道事業も約八千九百四十世帯が供用開始区域に入り、そのうち約六千五百世帯が水洗化し、普及率は七三%である。普及率の向上には市の広報紙の他、職員が直接各家庭を訪問し、水洗化へのお願いをしている。

また融資および補助金は特別の事情があるものを除き、要綱により供用開始後三年経過した地域については打ち切らせてもらった。

工事費の差については条件により違うと思うが、業者には誤

解のないよう指導している。なお見積りは一社でなく数社からとり、説明を聞いた上で発注されれば幸いである。受益者負担金の徴収猶予は生活困窮者九件係争地七件、児童遊園等市で借りているものが十七件である。

都、管理費の改定で

下水道料金値上げか

<57年度>

質問 「財政計画をたて一般会計の負担区分の明確化を図り、使用料の改定もいずればしたい。また横田基地の使用料金の少ない点に対し、基地だけの関係で条例改正はできない」と

の答弁であったがその理由は何か。

くみ取り料有料化の問題も全市の供用開始が実施されてからの答弁だが、改造資金、補助金はどのようになるのか。

供用開始される時点で一〜四年の差がでる。近隣市町とも話し合うとのことでもあったがその結果を伺いたい。

市長 下水道財政の健全化を図るには適正な受益者負担として使用料の値上げがある。都の流域下水道の維持管理費の単価が五十七年度から改定予定であり、市でも五十七年度からの値上げはやむを得ないと思っ

ている。

くみ取り料の有料化は調整会議の検討の結果、全区域の供用開始をまっけて進めていきたい。

なお、横田基地使用料の問題は、基地の分だけ改正することは好ましくないという意味であり、今後料金改定の中には十分考慮していきたい。

建設部長 下水道事業は六十年を目途に管の布設をしている

ところであるが、工事が完了すれば職員も減り経費の節減も可能であり、普及に対する企業努力もしていきたい。

業者間の差については各家庭の条件にもより問題が生じるようにも思われるが、市民に誤解のないよう適正な価格で見積りをするよう業者には徹底、指導している。また土地関係でのトラブルで水洗化の遅れている例もある。中には地代を上げたいというところもあるが、下水は公共の施設であり市でも話し合いの中に入り、かなりの解決をみている。なお三年経過した区域の水洗化へのお願いは広報や職員が戸別訪問したが、融資及び補助金については要綱により打ち切らせてもらった。



パイプ 議員と 野球



議員といえば議場では、いつも渋い顔をしている年配の人のイメージが強いように思われますがそんな一面ばかりではありません。たしかに、福生市の議員の平均年齢は53歳ですので、御世辞にも若いとは言えませんが、東京都の市議會議員の親善野球大会に参加し、頑張っています。

去年までは、参加することに意義をみだし、ただただプレーを楽しんでいたのですが、今年は第1回戦で強豪町田市議会を破り、長く続いていた連敗記録にピリオドを打ちました。

一生懸命プレーする姿は、普段みる堅いイメージとは、およそ異り、また新鮮でした。

いけんしょ

郵便貯金は国民大衆の貯蓄手段

郵便貯金の現行制度の存続を求める意見書
政府はさる一月十四日、郵便貯金の金利問題等を検討するために、内閣総理大臣の諮問機関として、「金融の分野における官業のあり方に関する懇談会」を設置しました。

この「懇談会」の目的は、①金利政策の一元化、②官業への資金集中の見直し、③金融の分野における官業のあり方、等を検討することとなっていますが、国民大衆の多くが利用している郵便貯金の金利を民間金融機関の金利と一本化することについて危惧を感じます。

いままでもなく郵便貯金は、庶民の零細な貯金で、全国いたるところで、普遍的に利用できる国民の貯蓄手段であり、その資金は、地方自治体への融資など、公的部分への運用が中心となっており、その効果はきわめて大きいものであります。

このような主旨から、現行の郵便貯金制度を存続し、国民大衆の福祉向上に資するよう要望します。

意見書

定例会最終日につきのような四つの意見書を可決し、それぞれ関係機関に提出しました。

都の責任で運営してほしい保育園

都立保育園の市町移管問題に関する意見書

現在、東京都においては、その財政再建対策の一環として、都立保育園を市町に移管させるための作業を行い、近く関係市町と協議を進める意向のようでありますが、財政基盤の弱い当市としては、とうてい都立保育園の移管を受け入れることは極めて困難な状況下にあります。

よって、都立保育園については、今後も引き続き、都の責任において運営されるよう強く要望いたします。

関係者と協議し進めたい

駅前自転車対策

質問 通勤通学には自転車があるものにもかえがたい足である。四月から二人の整理員がいる福生駅東口の二カ月間をみたところ、駅前にあった自転車がそのまま西友、大信の前に移動したにすぎないような気がする。駅の近くに駐車場がなければ解決できない問題であり、国鉄にも対策をすべき責任があるようにも思われる。国鉄に対する

対応、また西友、大信の前を締め出されたら大変な混乱が予想される。それらの企業と話し合いをもった方がよいと思われるがどうか。

市長 四月から高齢者事業団に委託し駅前広場にほとんど自転車が置かれなくなり、ようやく東口の自転車対策に着手したところであるが、西友付近に相

児童館建設問題

当面は地域会館でカバー

質問 子どもたちが健全な生活

を営めるよう活を営めるようにするのは、大人や自治体の責任であると考えられている。

市長 児童の健全育成を考えると、まず児童保育を実現するため、各小学校に地域会館を建設し、児童保育室の設置を優先してきた。

現在、児童館の建設の考えはないが、既設の地域会館にその機能を持たせる計画がある。当面、図書館、公民館を利用していただきたい。

企画財政部長 基本構想の中には、将来的に必要であるとの見解で載せたものである。現時点では、地域会館に児童館の機能を持たせるという考えであり、今後、建設するとしても、いつごろになるか、はっきりした見通しはついていない。

児童の育成は大人たちの責任

児童館は基本構想の中にも必要数二カ所となっており、建設については、優先すべき施設からやっていくと言っていたが、児童館を建設する考えがあるのか。また児童館の機能を持たせた地域会館を検討したことはあ



いけんしょ

制度を拡充し老後の暮らしに安心を

老人医療制度の改善に関する意見書

すべての国民にとって健康は最も大切なものであり、とりわけ日本の社会に多大な貢献をしてきた老人にとっては、収入も少なく、病気になる率も高いため、常に不安に脅かされております。

昭和四十八年から国において実施されてきた老人医療制度は、このような不安を解消し老後の暮らしにとって大きな福音となっており、

ところが財政危機を理由に老人医療制度の後退があると聞いております。

よって当市議会においては老人医療制度の後退に反対し、医療費支給年齢や所得制度の緩和等をはかり、リハビリ、健康増進などを取り入れた総合的な制度に拡充することを要望いたします。

守りたい都市生活の緑と空間

都市農業確立・市街化区域農地の宅地なみ課税撤廃に関する意見書

市街化区域内農地の宅地化促進を目的として農地・宅地なみ課税が実施され、その後固定資産税等の減額措置や農業経営奨励措置等が行われてきたところであります。

しかしこうした措置は、昭和五十六年度までとされ、しかも最近では宅地なみ課税の拡大強化が行われようとしていることは、農業経営、ひいては都市農業の存続を危うくするものであります。

現在の都市農業としての役割は、都市生活における緑と空間、災害時の避難場所等環境保全としての機能をもっていると想われます。

このようなことから市街化区域にあっても、現に農業の用に供されている農地については、宅地なみ課税を撤廃し農地課税とするよう強く要望する。

意見書

新任にあたって

議長 末次性男
副議長 森田治男

第二回 臨時会

正副議長 決まる
各委員長
5月11日～12日

請願

陳情

○請願第三号 米軍横田基地の立入調査要求に関する請願書
福生九四七
奥富喜一氏 他一五〇人
| 昭56・6・12提出 |

○請願第三号 「核」の疑惑と不安に対して、横田基地への市民による「立入調査」での真相究明に関する請願書
福生三三一五
市川勝彦氏 他二八人
| 昭56・6・12提出 |

採択

○請願第四号 老人医療制度の後退反対、現行制度の改善要求に関する請願書
福生二二二七
岩本寅次氏 他五人
| 昭55・9・11提出 |

○陳情第一号 市街化区域農地の宅地なみ課税撤廃に関する陳情書
福生四一九
村野弘氏 他一二人
| 昭56・3・13提出 |

○陳情第二号 町会等の会館建設費等の補助金増額に関する陳情書
福生七八九
高橋二郎氏 他一五〇人
| 昭56・6・12提出 |

継続

○陳情第四号 行政区域変更に関する陳情書
秋川市草花五の五
堀辰雄氏 他一八人
| 昭55・6・20提出 |

不採択

○陳情第一号 国鉄運賃値上げ反対、総合交通政策の確立に関する陳情書
八王子市旭町一一一
石野昇氏 他一人



わきみち

一福生院

謹んで御挨拶申し上げます。
去る五月十一日の臨時会におきまして、不肖私どもが議員各位の御推挙をうけ、正副議長の重職につくことになりました。ともに浅学非才、その任ではございませんが、お受けしましたからには、市政の推進と円滑な議会運営のため、専心努力をいたす所存であります。
戦後、地方自治法が施行され、以来市議会は、地方自治の伸展と市民の福祉向上をめざし、堅実な歩みを続けてまいりましたが、長期にわたる経済不況を反映し、市財政の逼迫した中で、使命にその重大さを痛感いたしているところであります。
しかしながら、自治体に寄せられる市民の期待と関心が大きいと、きだけに、皆さまの御要望にはできるだけお応えすることを念頭に、理事者とも最善の努力をいたす決意でございますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

梅雨明けを期待する気持ちが続いたのでしようか、朝方降っていた雨もあがり、久しぶりに薄い日が射してきました。こんな日にはふらりと市内を歩いてみるのもいいものです。ふだん何げなく通り過ぎていたところに思わぬ発見があったりします。牛浜の大坂から奥多摩街道を十分ぐらいい歩き、自転車工場のわきをまっすぐ進むと玉応山福生院が見えてきます。福生院は応永十八年(一四一一年)に創建された臨済宗のお寺で、十

五月十一日に第二回臨時会が招集され、三月三十一日付けて市長が専決処分した税条例など三件と庁舎に暖房設備をつけるための工事契約など三件の計六件が市長より提案され、原案のとおり決まりました。
なお、この会期中に正副議長より、辞職願いが提出され、新しい正副議長を選挙が行われました。
その結果、議長に末次性男議員、副議長に森田治男議員が決まりました。

一面観世音をまつった観音堂や地頭長塩家の墓所、福生で二番目に古い嘉元四年(一三〇六年)の板碑などがあります。板碑は追善や供養などの目的で作られたもので関東地方に多く存在し、中世の地方の文化や社会生活を知る上で貴重な資料であるということです。
境内には古木「いちいアララギ」とともに、「大賀ハス」が毎年開いて、二千年の昔をしのばせてくれるとのことでした。

新しく編集委員になりました。読みやすい市議会だよりをめざし頑張ります。

委員長 小林菊三
副委員長 関米吉
塩野鉄之助、指田保雄
田村市郎、松山清
高水惣八、石川慶一郎

● 議会選出議員・各種行政委員会等委員一覧表 ●

◎ 委員長 ○ 副委員長

(昭 56.6.12現在)

区 分		氏 名					
常任委員会	総務委員会	◎石川慶一郎 松山 清	○小野沢 久 田村 市郎	村尾 栄次 東田 正治	森田 治男 小堀 仁七		
	建設委員会	◎高水 惣八 村野 武男	○加藤謹之助 鈴木藤次郎	東浦 春浪 宮沢 良一	遠藤 洋一 塩野鉄之助		
	厚生委員会	◎指田 保雄 小林 菊三	○山崎繁三郎 貫井喜代次	仲村 清信 末次 性男	原 敏子 関 米吉		
横田基地対策特別委員会		◎塩野鉄之助 貫井喜代次	○田村 市郎 宮沢 良一	村尾 栄次 末次 性男	森田 治男 小堀 仁七	小林 菊三 関 米吉	
議会運営委員会		◎小林 菊三 松山 清	○関 米吉 田村 市郎	石川慶一郎 指田 保雄	高水 惣八 塩野鉄之助		
一部事務組合議会	福生伝染病院組合議会議員	松山 清	田村 市郎	指田 保雄			
	狭山火葬場組合議会議員	森田 治男	山崎繁三郎	原 敏子			
	青梅・羽村・福生地区 都市下水道組合議会議員	末次 性男	宮沢 良一	塩野鉄之助			
	西多摩衛生組合議会議員	末次 性男	貫井喜代次	小林 菊三			
	東京都収益事業 組合議会議員	貫井喜代次	塩野鉄之助				
	西多摩農業共済事務 組合議会議員	高水 惣八	村尾 栄次				
	東京都三多摩地域廃棄物 広域処分組合議会議員	小林 菊三					
各種行政委員会	民生委員推せん会	指田 保雄					
	福生市都市計画審議会	末次 性男 宮沢 良一	東浦 春浪 塩野鉄之助	遠藤 洋一 加藤謹之助	村野 武男 高水 惣八	鈴木藤次郎	
	福生市国民健康保険 運営協議会	原 敏子	指田 保雄	関 米吉			
	福生市駐留軍関係離職 者等対策協議会	末次 性男	関 米吉				
	福生市青少年問題協議会	石川慶一郎	小野沢 久	松山 清	東田正治		
	福生市農地課税審議会	村尾 栄次					
	福生市特別土地保有税審議会	貫井喜代次					
	福生市育英資金運営審議会	末次 性男	石川慶一郎				
	福生市表彰審査委員会	末次 性男	森田 治男	石川慶一郎	高水 惣八	指田 保雄	
	福生市交通安全対策協議会	末次 性男	指田 保雄				
	福生市歩行者天国連絡協議会	加藤謹之助	村野 武男				
	福生市ゴミ減量推進協議会	末次 性男	森田 治男	仲村 清信	山崎繁三郎	原 敏子	指田 保雄
	福生市社会福祉協議会	指田 保雄					
	青梅線福生駅橋上駅 建設促進期成会	末次 性男 山崎繁三郎	森田 治男 東田 正治	加藤謹之助	村尾 栄次		
	福生警察署管内防犯協会	末次 性男	指田 保雄				
	立川・横田基地対策協議会	末次 性男	塩野鉄之助				
	三多摩上下水及び道路 建設促進協議会	末次 性男	高水 惣八	加藤謹之助	宮沢 良一		
	多摩川上流流域 下水道事業対策協議会	末次 性男	高水 惣八				
	大多摩観光連盟	末次 性男					
	青梅線五日市線八高線 改善期成同盟会	末次 性男					
八高線電車化促進期成同盟会	末次 性男						
三鷹・立川間立体化 複々線促進協議会	末次 性男	石川慶一郎					
多摩地区離職対策連絡協議会	関 米吉						
東京都三多摩地区 消防運営協議会	末次 性男						
八高線八王子・高麗川間 複線電化促進協議会	末次 性男						
監 査 委 員	貫井喜代次						